

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大和市立北大和小学校 南棟	階数	地上 4F
建設地	大和市下鶴間字甲四号685番1及び10	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	450 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2017年12月20日
敷地面積	1,880 m ²	作成者	(株)小沢設計
建築面積	787 m ²	確認日	
延床面積	2,924 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記②以外のオンサイト手法 82%
④上記+オフサイト手法 82%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネルギーや耐久性に配慮して、地球温暖化防止・ヒートアイランド現象の緩和を図っている。バリアフリー化により、児童生徒の多様な行動に対応できる安全な施設づくりに努めている。		
Q1 室内環境 界壁の遮音性能に配慮している。照度や換気量に配慮している。	Q2 サービス性能 耐久性、補修性に優れた材料の使用を図っている。重要機器を浸水の恐れのない場所への設置に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 既存校舎と調和の取れた外観になるようにしている。敷地内のヒートアイランド現象の緩和を図っている。
LR1 エネルギー ガスヒートポンプエアコン、LED照明を採用し設備システムの高効率化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 再利用が可能なOAフロアを採用して資源の使用量を削減するよう努めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ を削減し、地球温暖化防止を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される